

子どもの失敗はしつきのチャンス

Q1

ゲームで遊んでいるときなど、後片付けがなかなかできません。どのように声かけをしたらよいでしょうか。

A1

遊びに夢中で、なかなか言うことを聞かないときには、一緒に行動してあげることが大切です。ときには、一緒に楽しみながら後片付けをしてみてください。

Point

- 1つ1つ根気よく
- 大人が手本を示す
- 他人と比較しない



ゲームで遊ぶときは、最初にルールを決めることが大切です。守らないときはゲームをさせない毅然とした態度も必要ではないでしょうか。ときには我慢を経験させることで、何事にも根気よく取り組む態度を育てることにつながるのではないのでしょうか。

ふりかえってみよう

あなたのご家庭では、どのような決まりやルールがありますか。



子どもは親の姿を見て学ぶ

Q2

お兄（姉）ちゃんは弟（妹）ともめると、すぐに手を出してしまいます。また、最近では仲の良い友達にも手を出してしまうことがあるようです。どうすれば仲良く過ごすことができるでしょうか。

A2

妹や弟が生まれると、それまで独占していた親の愛情を奪われたと感じるのが子ども心です。その寂しさや嫉妬心を理解して、やさしい言葉をかけ、抱きしめてあげてください。

Point

- 子どもの気持ちを受け止めよう
- 感情的にはならない
- 指示は短く「〇〇しよう」



時々お兄（姉）ちゃんと2人だけの時間を作ってあげましょう。お兄（姉）ちゃんが我慢をしていることもあります。「お兄（姉）ちゃんいつも面倒みてくれてありがとう。」などの言葉がけで安心するのではないのでしょうか。

ふりかえってみよう

親が「ありがとう」「おはよう」「行ってきます」など、お手本となる姿を見せていますか。



親の笑顔は子どもの元気のもと

Q3

祖父母は何かにつけて「ごほうび」と言って、孫におもちゃなどを買い与えます。物を与えなくてもほめることが大切だと思うのですが、ほめ方のポイントを教えてください。

A3

子どもは、親の喜ぶ顔を見たがるものです。ほめるときには笑顔でほめ、ときには「ぎゅっ」と、抱きしめてあげてください。

Point

- 目線を合わせてすぐほめる
- 笑顔で「よくできたね」
- 体で喜びを表す



可愛がってくれる祖父母の存在が、子どもの心の癒しになっていることもあります。祖父母と意見が合わないときは、大人同士で話し合ってみてはいかがでしょうか。

ふりかえってみよう

あなたはお子さんと、言葉以外でコミュニケーションをとっていますか。



親は子どもの応援団

Q4

子どもは朝の準備に時間がかかり、「さっさと食べて」「早くしなさい」と、つきつい言葉遣いになり、後で自己嫌悪になる毎日です。何かよいアドバイスはありますか。

A4

湧き上がってくる気持ちは自然なものです。あまり自己嫌悪に陥らず、イライラをうまく発散させる方法を見つけましょう。息抜きも大切です。

Point

- 無理せず、のんびりと
- 悩みを共感できる仲間を作る
- 身近な人に相談する



子どもに避けたい3大用語「何してんの!」「早くしなさい!」「何でできないの!」大人から見てぐずぐずしていたり、失敗ばかりしていたりするように見えても、子どもは一生懸命です。代わりに「大丈夫?」「どうしたの?」を使ってみましょう。

ふりかえってみよう

あなたは、どのようにして子育てのイライラを解消していますか。

